

科目名		住宅構造演習			
担当教員		高橋 二三雄		実務授業の有無	有
対象学科		建築デザイン	対象学年	1学年	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	演習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平面と立体の間を自在に往き来して、創造する能力と空間造型構成力を養います。</li> <li>・2次元の図面から3次元の建築物をイメージできる能力をトレーニングします。</li> </ul>			
学習目標 (到達目標)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・手を動かして、ものづくりに取り組み、模型づくりの基本作法を身につけます。</li> <li>・2年次はコンペに参加します。その時の表現方法として活用できる能力を習得する。</li> </ul>			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		配布資料、製図用具、木工ボンド、カッター、定規、下敷A2は共用			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	模型の種類と役割			自由な立方体を作りながら、道具の使い方、模型の種類と役割について学ぶ	
2	平面造型の基本			・簡単なパズルを作り、多様な形状を作る。	
3	立体造形の基本			・正方形100x100を7枚使ってで宝石箱をつくる。同形同サイズを7枚使う利点を考える。	
4	模型製作の基本練習			簡単な立方体を作る。	
5	白模型製作の練習課題①			家のカタチを作る。同じ形を x3個作る。	
6	白模型製作の練習課題②			切妻屋根の住宅模型を作る。完成したらバージョンUP増改築する。	
7	木造2階建ての白模型制作①			課題図面にに基づき、L字形平面の住宅模型を作る。	
8	白模型の共同制作			共同制作で白模型を作り、コンペの練習とする。	
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組評価	課題の評価			1、各授業項目の節目毎に評価します。不合格の場合は再度、次回授業始めに提出してください。	
30 %	70 %	%	%	それでも不合格の場合は提出期限切れとします。	
成績評価基準は				取組姿勢内訳は (提出期限30%) とします。	
A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		建築・デザイン設計事務所を経て現在個人事務所実務合計31年			